

ツキノワグマ出没特別注意報（秋期）

今年の春から夏にかけては、昨秋の堅果類（ドングリ、ブナ等）が豊作だったことに伴う子グマの出生増加等により人里へのクマの出没・人身被害が増加しました。

今年の秋は、ツキノワグマのエサとなる堅果類が凶作と予想されることから、秋から冬にかけてエサを求めてツキノワグマの行動範囲が広まり、人里への出没が懸念されます。このため、以下により「ツキノワグマ出没特別注意報（秋期）」を改めて発令します。

県民の皆様には、ツキノワグマに出会わないようより一層注意をお願いします。

◆ 期 間 令和5年9月1日～令和5年11月30日まで

◆ 区 域 県内全域



秋から冬にかけては、ツキノワグマが冬眠に向けてエサを大量に食べる時期となり、行動範囲が拡大します。人里には果樹や作物などエサが豊富にあるため、エサを求めて出没することが予想されます。また、この時期は行楽やキノコ狩りで入山した際にツキノワグマによる人身事故が発生しています。こうしたツキノワグマとの遭遇を避け、被害を未然に防ぐために次のような心構えが重要です。



1 遭遇しないための心構え

クマは臆病な性格のため、積極的に人間を襲うことはほとんどありませんが、不意の遭遇でパニックになり襲いかかってくる場合があります。こうしたツキノワグマとの遭遇を避けるために、以下の点についてご注意ください。

① クマがいるのかどうか調べる。（痕跡を調べる）

◇ クマの糞



人間と同じかちょっと大きめで形も人間と同じ。食べ物によって変化。

◇ 足跡： 幅は成獣で7～13cm。



② クマの行動を知り、遇わないようにする。

◇ 出かける前にツキノワグマの目撃情報等があるかあらかじめ確認しましょう。

◇ 山に入る際には、複数人で行動する、クマ鈴やラジオなどの音の鳴るものを身につけるなど、ツキノワグマに人間の存在が分かるようにしましょう。やむを得ず単独で行動する際には音のするものを身につけて、常に周辺を注意しましょう。

◇ ツキノワグマは早朝と夕方に活発に活動します。朝夕の入山、山の近くでの散歩は避けるようにしましょう。

◇ 子グマの近くには、親グマがいる可能性が高いです。子グマを守ろうと親グマが攻撃してくることがあり危険なため、子グマを見つけた場合はその場から静かに立ち去ってください。

2 人里を餌場と認識させないための心構え

ツキノワグマはエサがある場所と認識すると同じ場所に繰り返し出没します。ツキノワグマを引き寄せないために、次の点に注意しましょう。

- ① クマの餌となる生ゴミや作物の残渣を放置しない。
- ② 収穫しない果樹（カキ、クリなど）などを放置しない。
- ③ ペットフードや家畜の餌もクマを引き寄せるため、フードストッカーや納屋などに保管する。



3 出遭ったときに襲われないために

- ① 遠くにいるのを発見した場合は、あわてずそっと立ち去る。
- ② クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後ずさりしながらクマから離れる。クマとの間に立木等の障害物を入れることができる位置に移動することで突進を防ぐこともできる。
- ③ 背中を見せて逃げるとクマは本能的に襲ってくるので、走って逃げない。

問い合わせ先

福島県自然保護課

電話：024（521）7210

各地方振興局でクマ鈴を貸出します。